

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(7月6日から7月12日回答分)

	症例数	手術	
COVID-19陽性患者	2	帝王切開	1
		気管切開	1

COVID-19疑い患者	7	開腹手術	3
		観血的整復術	2
		帝王切開	1
		脳外科	1

事前シミュレーション実施	あり	6
	なし	3

手術室で気管挿管	6	McGrath	3
(喉頭展開1回で挿管)	(6)	AWS	2
		喉頭鏡	1
既挿管	1		
区域麻酔	2		

PPE	フェイスシールド	3
	ゴーグル	4
	シールド付きマスク	2
	N95	8
	サージカルマスク	1

手袋2枚	8
手袋1枚	1

自由記載

感染関連		入室後に人工鼻(フィルター)を接続したエアクッションマスクをヘッドバンドで固定し、酸素を投与し半閉鎖回路に接続した。自発呼吸下にCSEAを施行し、マスクでシールして手術を開始した。児娩出後にサージカルマスクを装着した。
		PPEが暑かった。(2例)
環境		空気感染隔離ユニットの音がうるさかった。
院内の認識		当院所在地では市中感染者が非常に少ない。患者の子供が感染増加地域から来院し、病棟フロアへの立ち入りを制限されたため、医療者との間に感情的な軋轢が生じた。
麻酔方法		気管切開時のバックングを抑えるために十分な量の筋弛緩薬を使用した。
		終始サージカルマスクを着用させ、酸素投与は術中、術後ともに行わなかった。
シミュレーション		感染増加地域から移動してきた家族と同居した発熱症例をシミュレーションを兼ねて疑い症例として対応したが、反省点が多かった。